

# 大野市上下水道事業ウォーターPPP 導入可能性調査業務委託 公募型プロポーザル 審査結果

## 1. 業務概要

業務名称	大野市上下水道事業ウォーターPPP 導入可能性調査業務委託
業務内容	公共下水道・農業集落排水・水道・簡易水道の4事業を対象としたウォーターPPP 導入の可能性を調査・分析し、今後の方針決定に資する報告書を作成するもの。
履行期間	契約締結日から令和9年3月26日まで
上限額（税込）	40,656,000円
選定方式	公募型プロポーザル方式
参加者数	2者

## 2. 審査方法

技術提案書の内容に基づく書類審査及びヒアリング審査を実施し、実施要領に定める評価基準に基づき審査委員会において点数化の上、最高得点者を優先交渉権者として選定する。

### 評価基準

審査項目	配点
(1)業務実績及び技術者審査(企業・管理技術者の技術力・執行力・精通度)	50
(2)実施体制及び実施方針等(業務理解度、手順、工程計画)	50
(3)特定テーマ：大野市上下水道事業の特性を踏まえたウォーターPPP 導入可能性に関する提案(的確性、実現性、有効性、課題の解決提案)	50
(4)提案説明・質疑応答内容について(取組意欲・理解度)	40
(5)見積価格の妥当性	10
合計	200

### 3. 審査結果

順位	名称	審査点数	備考
第1位	(株)中央設計技術研究所 福井事務所	184.4点	優先交渉権者
第2位	B社	178.0点	

審査の結果、(株)中央設計技術研究所 福井事務所が最高得点を獲得したため、優先交渉権者として選定しました。今後、同社と業務内容・条件等の交渉を行い、合意に至った場合に契約を締結します。

### 4. 審査講評

今回のプロポーザルでは、2者ともウォーターPPP導入可能性調査に関する業務実績を有しており、管理技術者も十分な資格及び業務経験を有していた。

(株)中央設計技術研究所は、本市での豊富な業務実績を背景に、施設の現状・課題・統廃合計画を正確に把握した上での提案がなされていた。特に、大野市固有の地域特性を踏まえた具体的な提案内容と、福井県内に常駐する技術者による業務実施体制及び本市・県内の地元企業の状況を踏まえたマーケットサウンディングへの対応が評価された。また、VFM算定・リスク分担・マーケットサウンディング等のウォーターPPP導入に必要な手法についても十分な知識・経験を有していることが確認された。財源最適化に関する具体的な提案については、業務の中でさらに深めることを期待する。

B社においては、ウォーターPPP分野における技術知識・実務経験が豊富であり、リスク分担・VFM算定・マーケットサウンディング等の手法について体系的な提案がなされており、特に、民間事業者との適切なリスク分担の考え方について、具体的な事例を交えながら明快な説明がなされた点は評価できる。一方、本市固有の地域情報や施設特性の把握という点では優先交渉権者との差が生じ、評価点が開く結果となった。

最後に、本プロポーザルに参加された各社について、提案書の作成及びヒアリング審査に貴重な時間と労力を費やし、真摯に取り組んでいただいたことに敬意を表するとともに、心より感謝申し上げ、講評とする。